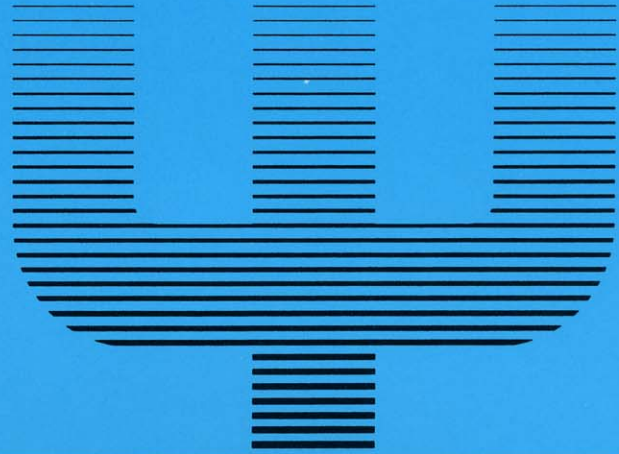


調査研究報告書 No.124  
2004



訓練効果・能力開発ニーズに関する調査  
— 高度職業訓練 —

独立行政法人雇用・能力開発機構

職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター

# 訓練効果・能力開発ニーズに関する調査

— 高度職業訓練 —

独立行政法人雇用・能力開発機構

職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター

# はじめに

経済社会の構造転換、IT技術をはじめとする技術革新等のより、企業は高付加価値化や新分野展開を担う高度な職業能力を有する人材を求めている。

職業能力開発大学校では高度な知識、技能・技術を有する実践技術者養成として「専門課程」を、さらに専門的かつ応用的な知識、技能・技術を有する高度実践技術者養成として「応用課程」が設置されており、産業界のニーズに対応した人材を送り出してきたところである。

専門課程は、科学・技術の知識だけでなく、実験・実習に重点をおいた教育訓練を展開し、知識・技能・技術を有機的に結びつけた“実学融合”の教育訓練システムにより多様なニーズに対応できる幅広い技術力を持った実践技術者（テクニシャン・エンジニア）を育成しており、応用課程は、課題学習、実学融合教育訓練、グループワーキング学習により、高度な知識及び技能・技術だけでなく、さらに創造性や柔軟性のある企画・開発能力、応用力、生産管理能力等多様な職業能力を有する高度実践技術者（生産現場のリーダー）を育成している。

本研究は、雇用・能力開発機構が設置している職業能力開発大学校（附属短期大学校も含む）の専門課程及び応用課程の修了生を採用した事業所と一般事業所に対して、修了生の評価と期待、教育の評価と人材ニーズについて調査し、高度職業訓練の現状と今後の課題を把握するものである。

本報告書が、企業ニーズに基づいた今後の高度職業訓練のあり方の資料として活用されれば幸いである。

なお、調査実施にあたりアンケートにご協力いただいた企業の方々に心から感謝申し上げます。

2004年3月

職業能力開発総合大学校  
能力開発研究センター  
所長 池本 喬三



# 目 次

第1章 調査の概要	1
第1節 調査の目的	1
第2節 調査の設計	1
2-1 調査対象企業と標本抽出	1
2-2 調査方法	1
2-3 調査実施期間	1
2-4 回収状況	2
第3節 調査の内容	3
第4節 回答企業の特性	4
第2章 企業における技術・技能者の人材需要と育成に関する調査結果	9
第1節 企業における技術・技能者の人材需要	10
1-1 現在必要としている技術・技能者	10
1-2 現在不足している技術・技能者	13
1-3 人材育成の実施状況	16
第2節 技術・技能者に対する教育研修実施について	19
2-1 技術・技能職に対する教育研修実施意向	19
2-2 教育研修を希望する分野	20
第3章 能開大及び卒業生に関する調査結果	25
第1節 能開大で育成する人材に対する社会的な需要	26
1-1 能開大卒業生の採用意向の有無（応用課程／専門課程）	26
1-2 採用意向の理由（応用課程／専門課程）	31
第2節 応用課程の教育訓練に対する評価	33
第3節 採用以外での能開大との関わり	37
3-1 関わった経験の有無	37
3-2 関わった内容	38
第4節 応用課程への社会人学生の派遣意向	39
4-1 派遣意向の有無	39
4-2 派遣したくない理由	40

第4章 採用実績企業による能開大卒業生の評価に関する調査結果	41
第1節 採用時に期待した能力や資質	41
第2節 採用後の実際の印象	46
第3節 採用時の期待に対する採用後の実際の印象	54
第4節 卒業生の能力評価	56
第5章 職業能力開発大学校・短期大学校に対する要望	65
第1節 能開大の取り組みに対する要望	65
第2節 能開大に対する意見・要望	66
第6章 まとめ	69
第1節 人材ニーズ	69
第2節 高度職業訓練	69
2-1 人材育成	69
2-2 期待と評価	70
資料編	
I 集計表	
II 回答企業のホームページ	
III 調査票(写し)	